GP3000H 専用変換アダプタ 取扱説明書

このたびは、（株）デジタル製 GP3000H 専用変換アダプタ（これより「本アダプタ」と称します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本アダプタは GP3000H シリーズの GP3000H 専用ケーブルコネクタを端子台に変換するアダプタです。

安全に関する使用上の注意

⚠警告

- 本体への取り付け時は、感電の危険性がありますので、本体に電源が供給されていないことを必ず確認して取り付けてください。
- 本アダプタは改造しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- 本アダプタを取り付ける際には、本書をよく読んで、正しく取り付けてください。

故障しないために

- 本アダプタに水や液状のものや金属が付着しないようにしてください。故障や感電の原因になります。
- 直射日光に当たる場所や高温の場所、ほこりの多い場所、振動の加わる場所での保管および使用は避けてください。
- 薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管および使用は避けてください。
- 腐食性ガスの発生する環境では、保管および使用しないでください。
- 端子部分には指などで直接触れないでください。腐食の原因となります。

廃棄時の注意事項

- 製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。

梱包内容

(1) GP3000H 専用変換アダプタ　1 個
(2) 取り付けネジ (M4) 3 種　各 4 個
(3) 防滴パッキン　1 個
(4) コネクタカバー 1 個
　（本アダプタに装着）
(5) 取扱説明書　1 冊（本書）

品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

マニュアルについて

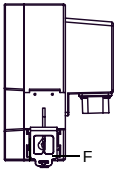
GP3000H シリーズに関する詳細な情報は以下の PDF マニュアルを参照してください。

- GP3000H シリーズハードウェアマニュアル
- 保守 / トラブル解決ガイド
- GP-Pro EX リファレンスマニュアル「ハンディタイプ GP」

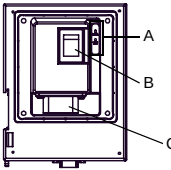
GP-Pro EX のヘルプメニューから選択、または（株）デジタルホームページからダウンロードしてご覧ください。

ホームページアドレス
http://www.proface.co.jp/otasuke/

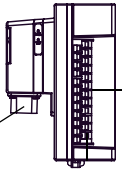
各部名称



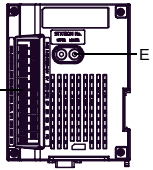
左側面図



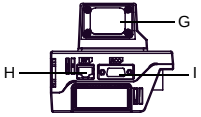
正面図



右側面図



背面図



底面図

	名称	説明
A	LED	<table><tr><th>LED 名称</th><th>色</th><th>表示</th><th>状態</th></tr><tr><td rowspan="2">POWER</td><td rowspan="2">緑</td><td>消灯</td><td>無通電時</td></tr><tr><td>点灯</td><td>電源投入時</td></tr><tr><td rowspan="4">STATUS</td><td rowspan="2">緑</td><td>点灯</td><td>GP と接続時（ハンドシェーク成立時）</td></tr><tr><td>消灯</td><td>無通電時</td></tr><tr><td>橙</td><td>点灯</td><td>GP と切断時（ハンドシェーク非成立時）</td></tr><tr><td>赤</td><td>点灯</td><td>GP との通信エラー発生時 本アダプタのリセット時</td></tr></table>
B	**電源スイッチ**	I：**電源** ON ○：**電源** OFF
C	**外部** **インターフェイス**	GP3000H **専用接続コネクタ付きケーブルで** GP **へ接続。** 参照→ *専用ケーブルの接続(14 ページ)*
D	24 **極端子台**	DOUT **信号などの外部出力や電源などと接続。接続ケーブルは** **ユーザー製作。**
E	**ロータリスイッチ**	**本アダプタの** ID **番号**※1 **を設定。**[UPPER] [LOWER] **の 2 つの** **ロータリスイッチで** 1 **つの** ID **番号を設定。**0 ～ 255(00H ～ FFH)**。**[UPPER] **にて** 16 **進数の** 2 **桁目を、**[LOWER] **にて** 16 **進** **数の** 1 **桁目を設定。** **(** 例 **)**95(5FH) **の場合、**[UPPER] **にて「**5**」、**[LOWER] **にて「**F**」** **を設定。**
F	DIN **レールフック**	DIN **レール** (35mm) **取り付け固定用。**
G	**コネクタカバー**	GP3000H **専用コネクタ付きケーブルを接続する際に外す。**

H	イーサネット インターフェイス	イーサネット通信 (10BASE-T/100BASE-TX) インターフェイス。 RJ-45 タイプモジュラジャックコネクタ (8 極) を使用。
I	シリアル インターフェイス	RS232C/RS422/RS485 シリアルインターフェイス。 D-Sub9 ピンプラグタイプのコネクタ。 通信方式はソフトウェアで切り替え。

※ 1 GP が変換アダプタの ID 番号を GP のシステム変数「#H_MachineNo」に周期的に格納し、GP に接続された変換アダプタを正しく認識します。システム変数については GP-Pro EX リファレンスマニュアルをご参照ください。

一般仕様

■電気的仕様（変換アダプタ単体）

電源	定格電圧	DC24V
	電圧許容範囲	DC19.2 〜 28.8V
	許容瞬時停電時間	10ms 以内
	消費電力	6.3W 以下※ 1
	突入電流	30A 以下
絶縁耐力		AC500V 20mA 1 分間（充電部端子と FG 端子間）
絶縁抵抗		DC500V 10MΩ 以上（充電部端子と FG 端子間）

■環境仕様（変換アダプタ単体）

物理的環境	使用周囲温度	0 〜 50°C ※ 2
	保存周囲温度	-20 〜 +60°C
	使用周囲湿度	10 〜 90%RH（結露のないこと、湿球温度 39°C 以下）
	保存周囲湿度	10 〜 90%RH（結露のないこと、湿球温度 39°C 以下）
	じんあい	0.1mg/m^3 以下（導電性塵埃のないこと）
	汚染度	汚染度 2
	腐食性ガス	腐食性ガスがないこと
	耐気圧（使用高度）	800 〜 1114hPa（海抜 2000m 以下）
機械的稼動条件	耐振動	JIS B 3502、IEC61131-2 に準拠 5 〜 9Hz 片振幅　3.5mm 9 〜 150Hz 定加速度 9.8m/s^2 X, Y, Z 各方向 10 サイクル（100 分間）
	耐衝撃	JIS B 3502、IEC61131-2 準拠（147m/s^2 X, Y, Z 3 方向各 3 回）

※ 1 GP と接続し、GP の電源が ON の時、23W 以下になります。

※ 2 GP の使用周囲温度は 0 〜 40 ℃です。

電気的稼動条件	耐ノイズ	ノイズ電圧：1000V_{P-P} パルス幅：1μs 立ち上がり時間：1ns （ノイズシミュレータによる）
	耐静電気放電	接触放電法 6kV (EN61000-4-2 レベル 3)

■外観仕様

設置条件	接地	機能接地：D 種接地 (SG-FG 共通)
	構造	保護：IP65f 相当（盤取り付け時） 取り付け方法：35mm DIN レールまたは盤取り付け
	冷却方式	自然空冷
	質量	600g 以下（本体のみ）
	外形寸法	W113 × H144 × D100mm
	パネルカット寸法	W64.5 × H90.5mm※ 1 パネル厚範囲：1.6 ～ 10.0mm

※ 1 寸法公差は全て＋ 1 ／－ 0mm、角の R は R3 以下です。

外部インターフェイス

重要

- 本アダプタのシリアルインターフェイスにはアイソレーション機能はありません。特に接続相手がアイソレーションされていない場合は、必ず 5 番ピン (SG) を接続してください。RS232C/RS422/RS485 の回路が故障する恐れがあります。

MEMO

- アイソレーションが必要な場合は、COM にて RS232C アイソレーションユニット (CA3-ISO232-01) を使用することによりアイソレーションが可能となります。

1. シリアルインターフェイス（COM）

通信方式：RS232C/RS422/RS485
調歩同期式
データ長：7 ビット /8 ビット
パリティ：奇数 / 偶数 / なし
ストップビット：1 ビット /2 ビット
伝送速度：2400bps ～ 115.2kbps
187.5kbps（MPI）
最大通信距離※ 1**：**15m (RS-232C 時)、
1200m (RS-422、115.2kbps 時)

※ 1 GP と本アダプタ間の接続ケーブル長を含む。

ケーブル側推奨コネクタ	XM2D-0901**〈オムロン（株）製〉**
推奨ジャックスクリュー #4/40（UNC）	XM2Z-0073**〈オムロン（株）製〉**
推奨カバー	XM2S-0913**〈オムロン（株）製〉**

ピン番号	RS232C		RS422/RS485	
	信号名	**内容**	**信号名**	**内容**
1	CD	**キャリア検出**	RDA	**受信データ** A(+)
2	RD(RXD)	**受信データ**	RDB	**受信データ** B(-)
3	SD(TXD)	**送信データ**	SDA	**送信データ** A(+)
4	ER(DTR)	**データ端末レディ**	ERA	**データ端末レディ** A(+)
5	SG	**信号グランド**	SG	**信号グランド**
6	DR(DSR)	**データセットレディ**	CSB	**送信可** B(-)
7	RS(RTS)	**送信要求**	SDB	**送信データ** B(-)
8	CS(CTS)	**送信可**	CSA	**送信可** A(+)
9	CI(RI)/VCC	**被呼表示** +5V±5% **出力** 0.25A※1	ERB	**データ端末レディ** B(-)
Shell	FG	**フレームグランド** (SG **共通**)	FG	**フレームグランド** (SG **共通**)

※1 9**番ピンの** RI/VCC **はソフトウェアで切り替え。**VCC **出力は過電流保護されていません。誤動作、故障の原因になりますので、電流定格を守ってご使用ください。**

2. **イーサネットインターフェイス**

Ethernet

(IEEE802.3u,10BASE-T/100BASE-TX)

最大通信距離※1**：**100m

※1 GP **と本アダプタ間の接続ケーブル長を含む。**

3. 24 **極端子台**

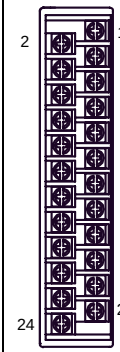
⚠警告

- **ケーブルを接続または取り外す際には必ず本アダプタの電源スイッチを** OFF **にしてください。感電のおそれがあります。**

重要

- **ケーブル製作時には、端子台カバーに表示されているピン番号をお確かめの上、配線してください。**
- **端子台にケーブルを接続する際には必ずパネルから取り外してください。パネルに取り付けた状態で接続すると本アダプタやパネルが破損するおそれがあります。**

・端子台では端子台カバーを必ず使用してください。感電のおそれがあります。

ピンコネクション	ピン番号	信号名	内容
 (変換アダプタ側)	1	DC24V	**電源入力** (DC24V)
	2	0V	**電源入力** (0V)
	3	FG	**フレームグランド** (SG **共通**)
	4	KEY_COM※1	**キースイッチコモン** **本アダプタ電源** ON **時、**DC24V **が出力されます。定格** DC24V ± 20% 200mA
	5	KEY_NO	**キースイッチ** (A **接点**)(**ノーマリ・オープン**)
	6	KEY_NC	**キースイッチ** (B **接点**)(**ノーマリ・クローズ**)
	7	ENB0A	3 **ポジションオペレーションスイッチ** 0A(A **接点**) **定格** DC30V 700mA(**最小適用負荷** DC3V 5mA)
	8	ENB0B	3 **ポジションオペレーションスイッチ** 0B(A **接点**)
	9	ENB1A	3 **ポジションオペレーションスイッチ** 1A(A **接点**) **定格** DC30V 700mA(**最小適用負荷** DC3V 5mA)
	10	ENB1B	3 **ポジションオペレーションスイッチ** 1B(A **接点**)
	11	EMG0A	**非常停止スイッチ** 0A(A **接点**) **定格** DC30V 1A(**最小適用負荷** DC5V 1mA)
	12	EMG0B	**非常停止スイッチ** 0B(A **接点**)
	13	EMG1A	**非常停止スイッチ** 1A(B **接点**) **定格** DC30V 1A(**最小適用負荷** DC5V 1mA)
	14	EMG1B	**非常停止スイッチ** 1B(B **接点**)
	15	EMG2A	**非常停止スイッチ** 2A(B **接点**) **定格** DC30V 1A(**最小適用負荷** DC5V 1mA)
	16	EMG2B	**非常停止スイッチ** 2B(B **接点**)
	17	OP	OP. **出力　オープンコレクタ** DC24V 300mA
	18	OP_GND	OP. **グランド**
	19	DOUT1	DOUT1 **出力　オープンコレクタ** DC24V 300mA
	20	DOUT1_GND	DOUT1 **グランド**
	21	DOUT0	DOUT0 **出力　オープンコレクタ** DC24V 300mA
	22	DOUT0_GND	DOUT0 **グランド**
	23	BUZZ	**外部ブザー出力　オープンコレクタ** DC24V 300mA
	24	BUZZER_GND	BUZZER **グランド**

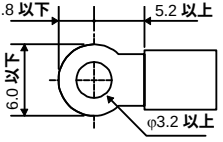
※1 GP **のキースイッチを使用して外部のセーフティ回路を構成する際、外部のセーフティ回路用の電源として使用します。本アダプタ電源** ON **時、**DC24V **が出力されます。他の端子と接触しないように配線してください。詳しくは「セーフティ回路（**10 **ページ)」をお読みください。**

重要

- **シールド線には、テーピングまたは絶縁チューブをかぶせてください。**
- **通常、本アダプタから GP3000H 専用コネクタ付きケーブルを抜き差しすると接続機器が非常停止します。しかし、外部にセーフティ回路を設けることで、接続機器が非常停止することなく、ケーブルを抜き差しできます。必ず「セーフティ回路（10 ページ）」をお読みください。**

■使用端子について

圧着端子には以下の条件のものを使用してください。



重要

- **絶縁被覆付き圧着端子を使用してください。絶縁被覆のない圧着端子を使用する場合は、テーピングまたは絶縁チューブをかぶせてください。**

MEMO

- **端子ネジの締め付けトルクは** 0.79N•m **です。**
- 1 **つの端子に最大** 2 **つまで接続できます。**

■電源入力インターフェイス

⚠警告

- **感電の恐れがありますので必ず電源が供給されていない状態で接続してください。**
- **定格電圧以外を入力しないでください。定格電圧以外を供給すると電源および本体が破損します。**
- FG **端子は必ずアースに落としてください。故障したときに感電する恐れがあります。**
- **できるだけ太い電線** (AWG18 ～ AWG14) **を使用し、必ず根本からツイストしてください。**
- **銅芯線を使用してください。**

◆電源供給時の注意事項

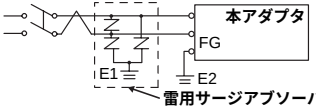
- **本アダプタの電源と入出力機器、および動力機器とは、系列を分離して配線してください。**
- **電源ケーブルは必ず電源部に近いところから、耐ノイズ性向上のためツイスト（より線）で布線してください。**
- **主回路（高電圧、大電流）線、入出力信号線、電源ケーブルは、それぞれ束線、接近をしないでください。**
- **ノイズ対策のため、電源ケーブルはできるだけ短くしてください。**
- **電圧変動が規定値以上の場合は定電圧トランスを接続してください。**
- **線間や大地間は、ノイズの少ない電源を使用してください。ノイズが多い場合は絶縁トランス（ノイズカットトランス）を接続してください。**
- **取り付け導体の温度定格は** 75 **℃のみです。**

重要

- **定電圧トランス、絶縁トランスの容量は定格値以上のものを使用してください。**
- DC24V **入力機は必ず** Class 2 **電源でご使用ください。**
- **雷のサージ対策に、雷用サージアブソーバを接続してください。**

重要

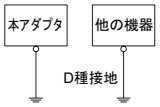
- **雷サージアブソーバの接続** (E1) **と本体の接地** (E2) **とは分離してください。電源電圧最大上昇時でもサージアブソーバの最大許容回路電圧を超えないような雷用サージアブソーバを選定してください。**



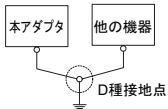
◆接地時の注意事項

- **電源ケーブルの FG は、専用接地としてください。「接地工事は D 種接地、接地抵抗 100Ω 以下」**
- **本アダプタは内部で SG(信号グランド) と FG(フレームグランド) が接続されています。接続装置と SG を接続する場合は、短絡ループが形成されないようにシステムを設計してください。**
- **$2mm^2$ 以上の接地用電線を使用してください。接地点は本体の近くで接地線の距離を短くしてください。接地線が長くなる場合は太い絶縁線を通して敷設してください。**

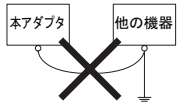
専用接地　最良



共用接地　良



わたり接地　禁止



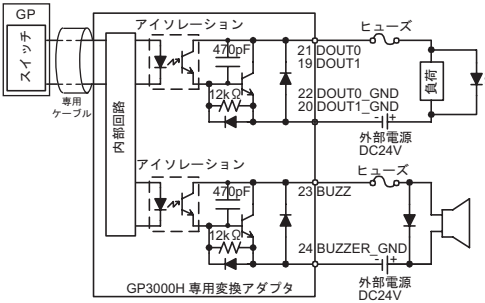
◆入出力信号接地時の注意事項

- **入力信号線、および出力信号線は、動力回路のケーブルとは別の配線系統に布線をしてください。**
- **動力回路ケーブルを別の配線系統にできないときには、シールドケーブルを使用して、シールド端を接地してください。**

■外部インターフェイスの回路図

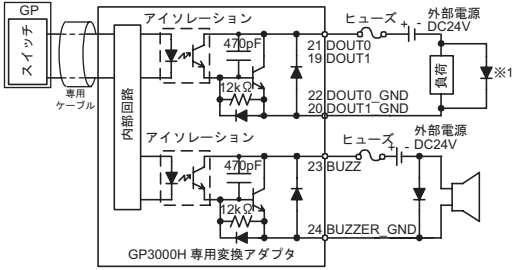
◆ DOUT 出力、外部ブザー出力

< **シンクタイプ** >



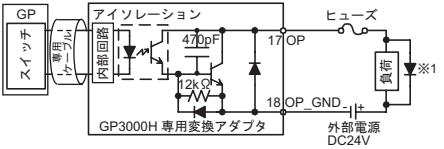
※ 1 **負荷が誘導負荷の場合、負荷側でサージ対策を行ってください。**

< **ソースタイプ** >

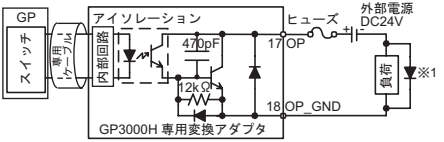


◆オペレーションスイッチ出力

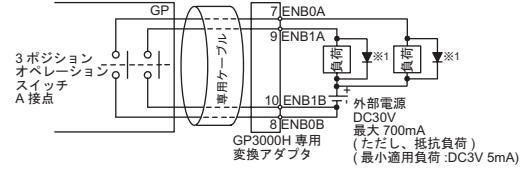
< **シンクタイプ** >



< **ソースタイプ** >

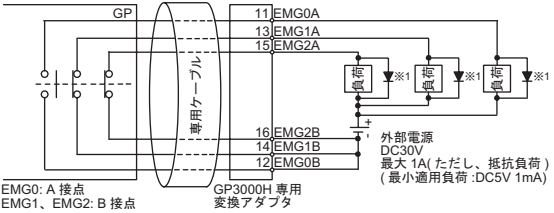


◆3 **ポジションオペレーションスイッチ出力**



※1 **負荷が誘導負荷の場合、負荷側でサージ対策を行ってください。**

◆非常停止スイッチ出力

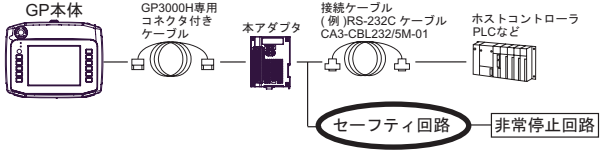


※ 1 **負荷が誘導負荷の場合、負荷側でサージ対策を行ってください。**

セーフティ回路

通常、本アダプタから GP3000H **専用コネクタ付きケーブルを抜き差しすると接続機器が非常停止します。次のとおり、外部に「セーフティ回路」を設け、後述の「■セーフティ回路使用時に非常停止機能が効かない条件」でのみ、非常停止させることなくケーブルを抜き差しできますので必ずお読みください。**

■システム構成図



■セーフティ回路

⚠警告

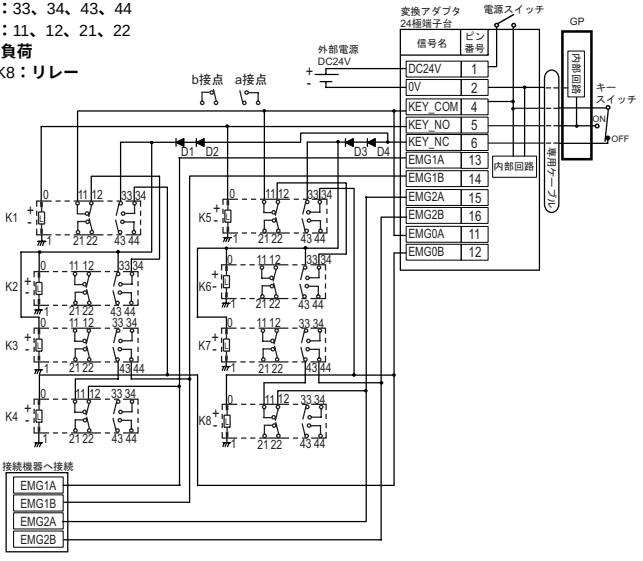
- **感電の恐れがありますので必ず電源が供給されていない状態で接続してください。**

重要

- **正しく配線し、接続後は十分な動作確認を必ず行ってください。**
- **ケーブルの断線やキースイッチ / リレーの接点の溶着・オープン故障など複数の故障が同時に発生した場合、安全機能の低下を引き起こす恐れがあります。十分注意の上ご使用ください。定期的な動作確認もお薦めします。**
- **このセーフティ回路は** ISO13849-1 **で規定される安全カテゴリ** 1 **まで適合しています。**

推奨セーフティリレー	G7SA-2A2B < **オムロン（株）製** >	8 **個必要**
推奨セーフティリレーソケット	P7SA-10F-ND < **オムロン（株）製** >	8 **個必要**
ダイオード	**逆方向電圧** DC250V **以上、低順方向電圧推奨**	4 **個必要**
ケーブル	AWG26 (UL1061) **推奨**	
電源ケーブルの太さ	AWG22 〜 14 **推奨**	

a **接点：**33、34、43、44
b **接点：**11、12、21、22
L **：負荷**
K1 ～ K8：**リレー**



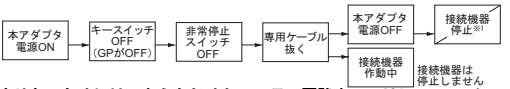
重要

- **本アダプタの電源スイッチを** ON **にすると、端子台** 1 **番ピン「**DC24V **入力」と** 4 **番ピン「**KEY_COM**」(**DC24V **出力**) **がつながります。そのため** 4 **番ピン「**KEY_COM**」は、他の端子、特に** 2 **番ピン「**0V**」または** 3 **番ピン「**FG**」と接触すると電源が短絡し、本アダプタ内部の保護ヒューズが溶断します。絶対に** 4 **番ピン「**KEY_COM**」が他の端子と接触しないように配線してください。**
- **「**KEY_COM**」端子が未使用の場合も、必ず「未接続」の状態にしてください。**
- **キースイッチ未搭載の** GP **をご使用の場合も、「**KEY_COM**」端子は必ず「未接続」の状態にしてください。**

■セーフティ回路使用時に非常停止機能が効かない条件

重要

- **次の条件のみ、本アダプタから** GP3000H **専用コネクタ付きケーブルを抜き差ししても接続機器は非常停止しません。**

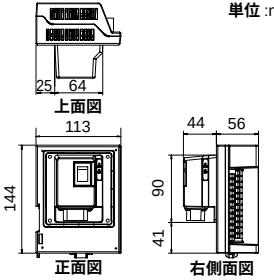


※ 1 **非常停止させないためには、あらかじめセーフティ回路内で、リレーの** K1 **と** K5 **の** 11 **ピンおよび** 24 **極端子台の「**#11 EMG0A**」を、**[#4 KEY_COM] **との配線から外して** [#1 DC24V] **に配線してください。**

外観図と各部寸法

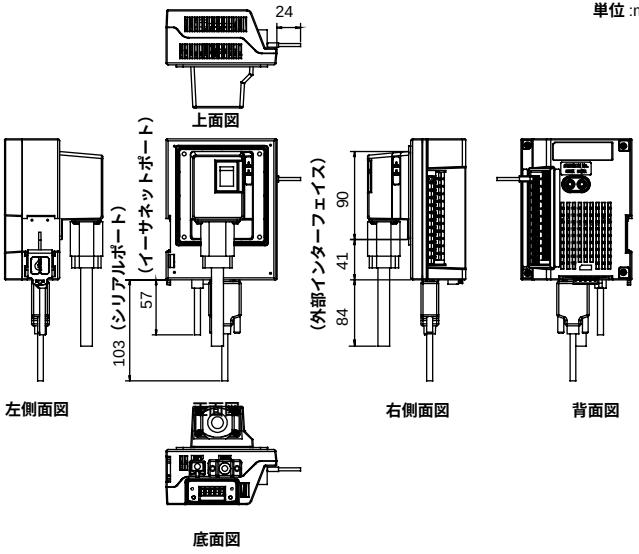
1. 外観図

単位 :mm



2. ケーブル付き外観図

単位 :mm



取り付け

⚠警告

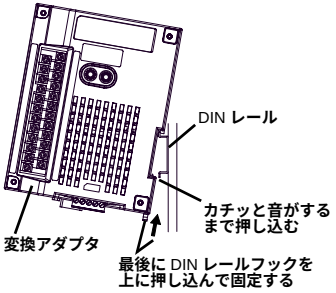
作業をする前に

- **本アダプタの取り付けは、感電の危険性がありますので電源が供給されていないことを必ず確認して作業を行ってください。**

1. **DIN レール** (35mm) **への取り付け・取り外し**

■取り付け

図のように、上部の溝を DIN **レールに引っかけ、下部をカチッと音がするまで押し込むようにはめ込むと取り付けられます。最後に、必ず** DIN **レールフックを矢印の方向に押し込んで固定します。**

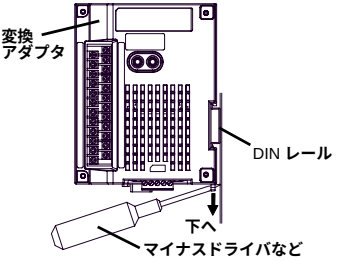


重要

- **本アダプタの上下を確認し、必ず垂直面に正しく取り付けてください。間違った取り付けを行うと放熱が妨げられ、正常に動作しなくなる可能性があります。**
- DIN **レールフックは、開いた状態で保つことができる機構になっています。取り付け時は必ず** DIN **レールフックが閉じ、本アダプタが** DIN **レールに固定されたことを確認してください。**
- **本アダプタを** DIN **レールに取り付ける際は、コネクタに負荷がかからないようにケーブルを固定してください。ケーブルの負荷で本アダプタおよび** DIN **レールが破損するおそれがあります。**

■取り外し

ドライバーなどで DIN **レールフックを矢印の方向に押し下げながら変換アダプタ下部を前方に引き出すと取り外せます。**

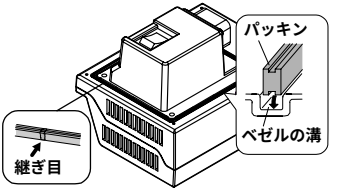


2. **盤への取り付け・取り外し**

(1) **以下の取り付け穴図に従って取り付け穴を加工します。**

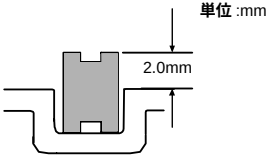
(2) **本アダプタの背面を下にして、水平なところに置き、防滴パッキンにスリットが入っている方が上下面になるように取り付けます。**

本アダプタ正面



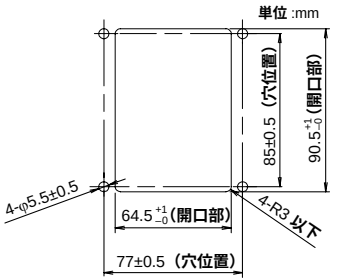
重要

- **防滴効果を必要としないような環境においても防滴パッキンは、必ず使用してください。**
- **長期間使用した防滴パッキンや盤から取り外した本アダプタ を再度盤に取り付けると** IP65f **相当の防滴効果を得られなくなります。安定した防塵・防滴効果を得るためには、防滴パッキンの定期的（年** 1 **回、またはキズや汚れが目立ってきた場合など）な交換をお勧めします。**
- **適合する防滴パッキンの型式は「**GP3000H-WPGADP-01**」です。**
- **防滴パッキンが溝に正しく取り付けられてないと、防滴効果** (IP65f **相当**) **は得られません。**
- **パッキンは伸縮性がないため、引っ張らないでください。無理に引っ張るとちぎれる恐れがあります。**
- **本アダプタの角に防滴パッキンの継ぎ目を挿入しないでください。挿入すると、継ぎ目に引っ張る力が加わり、防滴パッキンがちぎれる原因となります。**
- **安定した防塵・防滴効果を得るために、防滴パッキンの継ぎ目は製品の下側にくるように取り付けてください。**
- **防滴パッキンが均等に** 2.0mm **程度、溝から表面に出ていれば、正しく取り付けられた状態です。パネル取付の際には必ず防滴パッキンの取り付け状態を確認してください。**



(3) **パネル面の背面から本アダプタ正面を挿入します。**

(4) M4 **のネジで固定します。締めつけトルクは、**0.5 ～ 0.6N•m **です。**



パネル厚による適切な M4 **ネジは次のとおりです。**

パネル厚 (mm)	**使用するネジ**
1.6 ～ 4	M4 × 6
5 ～ 7	M4 × 12
8 ～ 10	M4 × 15

重要

- **ネジは強くしめすぎると、本アダプタを破損する恐れがあります。**

専用ケーブルの接続

1. 専用ケーブル

GP **の接続には次の** GP3000H **専用コネクタ付きケーブル (別売) が必要です。**

品名	**型式**	**内容**
GP3000H **専用ハードケーブル** 10m **コネクタあり**	GP3000H-CBLHD-10M	GP **と本アダプタとの間で通信を行う際のインターフェイスケーブル。ヘビーデューティタイプ。**

品名	型式	内容
GP3000H 専用ソフトケーブル 3m コネクタあり	GP3000H-CBLSD-3M	GP と本アダプタとの間で通信を行う際のインターフェイスケーブル。標準タイプ。
GP3000H 専用ソフトケーブル 5m コネクタあり	GP3000H-CBLSD-5M	
GP3000H 専用ソフトケーブル 10m コネクタあり	GP3000H-CBLSD-10M	

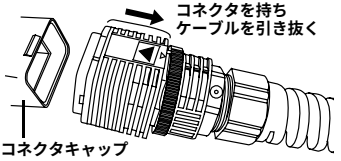
2. 専用ケーブルの接続

重要

- ケーブルのコネクタ部を落下させたり物にぶつけたりしないでください。破損の恐れがあります。

◆取り付け

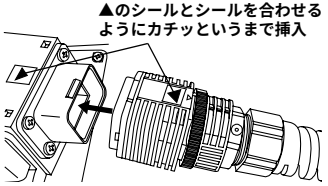
(1) あらかじめ、GP3000H 専用ケーブルコネクタとケーブルのコネクタキャップを外します。
ケーブルのコネクタキャップは、図のようにケーブルのコネクタを持って引き抜きます。



MEMO

- 必ずケーブルのコネクタを持って引き抜いてください。ケーブルの他の部分を持って引っ張ってもコネクタキャップをはずすことはできません。

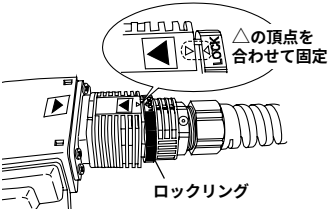
(2) ケーブルのコネクタを GP の GP3000H 専用ケーブルコネクタにカチッと音がするまで挿入。図のように▲が刻印されたシールとシールを合わせるように挿入します。



MEMO

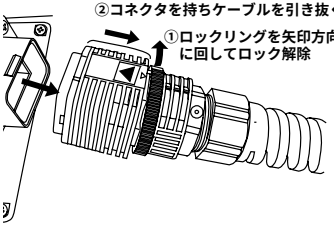
- ケーブルはタグのついている先を本アダプタに、タグのついていない先を GP に接続してください。
- ケーブルはコネクタの向きを必ず確認して挿入してください。間違った向きでの無理な挿入はコネクタを破損させる恐れがあります。

(3) ケーブルのコネクタとの接続部 (ロックリング) を回して、ロックリングに印字されている「LOCK」の「△」と、コネクタに印字されている「▽」の頂点の位置を合わせて接続を固定してください。



◆取り外し

(1) **取り付け時に固定したロックを解除し(「△」と「▽」の頂点の位置をずらすようにロックリングを矢印方向に回す)、ケーブルのコネクタを持って引き抜きます。**



重要

- **本アダプタに水がかかるおそれのある環境では、ケーブルを取り外した後、必ずコネクタカバーを取りつけてください。**

MEMO

- **必ずケーブルのコネクタを持って引き抜いてください。ロックリングやケーブルの他の部分を持って引っ張ってもケーブルは抜けません。**

UL/c-UL 認定について

以下の機種は UL/c-UL **製品認定品です。**
(UL File No.E220851**)**

型式	UL/c-UL 登録型式
AGP3000H-ADPCOM-01	3610006-01

以下の規格に適合しています。

■ UL508

工業用制御装置

■ CSA-C22.2 No.142-M1987
(c-UL **認定**)

制御処理装置

< **注意事項** >

本アダプタを組み込んだ機器を UL **申請する際は、以下の事項にご注意ください。**

- **本アダプタはオープンタイプ機器として認定されています。**
- **本アダプタは室内専用機として使用してください。**
- **タイプ** 1 **エンクロージャの平面上に取り付けてください。**
- **本製品の筐体は** UL **規格で規定される防火エンクロージャとして認証されていません。**
  本製品を盤に取り付けて使用する場合、最終製品で UL **認証を受けるには、取得する規格に応じた防火エンクロージャ(金属バリア)にて本製品の背面、および側面などをカバーしてください。**

CE マーキングについて

- AGP3000H-ADPCOM-01 **は、**EMC **指令に適合した** CE **マーキング製品です。**
  EN55011 Class A, EN61000-6-2 **に適合しています。**

お問い合わせ

本製品でお困りのこと、ご質問など、いつでも解決のお手伝いをさせていただきます。弊社サポートサイト「おたすけ Pro! **」へアクセスしてください。**
http://www.proface.co.jp/otasuke/

お断り

本製品を使用したことによるお客様の損害その他不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

株式会社 デジタル
〒 559-0031
大阪市住之江区南港東 8-2-52
TEL：(06) 6613-1101 **(代)**
FAX：(06) 6613-5888
URL：http://www.proface.co.jp/

本書の記載事項はお断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

© Copyright 2008 Digital Electronics Corporation. All rights reserved.
PFX102973H .AGP3000H-ADPCOM-MT01J-BTH
2012.01 JM/E